

令和 3 年 5 月 2 1 日  
国土交通省都市局公園緑地・景観課

民間競争入札実施事業  
「国営公園運営維持管理業務」の自己チェック資料

① 「実施要項における競争性改善上のチェックポイント」の対応状況

○国土交通省では、「国営公園の運営維持管理業務」（以下「本業務」という。）の競争性を確保するため、市場化テスト 3 期目では以下の取り組みを実施した。

(1) 入札参加者の募集に関する改善

- ・入札公告から申請書類等の受付期間の延長
- ・入札参加が期待される関係団体等へ周知するための広報を新たに実施
- ・包括的な質の設定に関する改善

市場化テスト 1 期目及び 2 期目では年間及び四半期毎に達成すべき質について設定していたが、市場化テスト 3 期目では事業者の自由な提案を求めるため、一部の項目について年間のみ達成すべき質を設定した。

・収益施設等設置管理運営業務の対象拡大

新規の意欲的な提案を引き出し、新規事業者の参入を促進するため、自主事業の対象に、飲食・物販施設等の設置運営等を追加した。

・提案項目審査における加算点の配分拡大

新規の意欲的な提案を引き出し、新規事業者の参入を促進するため、従来の実施方法の改善提案等の項目について加算点の配分を拡大した。

(2) 配置予定者の業務実績等に関する要件の改善

・開園期間中の業務責任者の実施体制を改善

開園期間中の総括責任者及び業務責任者の勤務体制について、市場化テスト 1 期目及び 2 期目は総括責任者及び業務責任者のうち 2 名以上が勤務することとなっていたが、市場化テスト 3 期目は総括責任者 1 名もしくは業務責任者のうち 2 名以上が勤務する体制へと緩和した。

・企業及び配置予定者の業務実績要件の緩和

市場化テスト 1 期目及び 2 期目は同種又は類似業務の経験について、過去 10 年の業務を対象としていたが、市場化テスト 3 期目は過去 15 年に対象期間を延長した。

## ② 実施状況の更なる改善が困難な事情の分析

競争性改善に向けた取組を実施してもなお、①事業者において人員を確保することが困難であること、②公告期間が短く入札の準備が困難であること、③業務内容に対して過年度の実施経費が低く採算を取ることが困難であること、の3点が1者応札の要因と考えられる。

しかし、①については、本事業は公園の運営維持管理全般について計画立案を行い一元管理方針のもとで総合的な調整を実施することにより、各業務の相互作用によって業務の効率化や一体的な公共サービスの提供を図ることに意義があるため、業務を分割すること等による対応は困難である。

②については、現行業務の実施状況を踏まえて次期業務の見直しに向けた検討期間を十分に確保するためには、入札公告から申請書類等の受付期間をこれ以上延長することは困難である。

③については、これまでの市場化テストにおける事業者の創意工夫により業務が効率化された結果、過年度の実施経費にて業務の質が概ね確保されているため、予算の増額等による対応は不適切である。